

Kashimura AT-100

自車式スマホホルダー 吸盤取り付け

※取り扱い説明書をよくお読みになって正しく取り付けご使用ください。

お買い求めになる前に

●本製品は車内もしくは屋内で使用するスマホホルダーです。●車種によっては取り付けできない場合があります。取り付け場所の形状やサイズ、周辺状況をご確認ください。●本製品のゲル吸盤は硬い樹脂製以外の材質(本革、合成皮革、布地、ウレタン等)、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面等のダッシュボードには取り付けできません。●ゲル吸盤はその特性上紫外線や高温で劣化します。また劣化によりゲル吸盤の吸着力が低下する場合があります。●取り付け箇所やその周辺は取り付け跡が残ったり、破損する可能性があります。●本製品は縦置き時:幅65mm~85mm、横置き時:高さ65mm~80mm、縦置き/横置きともに厚み約12mm、重量130g~250gまでのスマートフォンに対応しています。●スマートフォンに装着している保護ケースの寸法によっては、本製品ではご使用になれない場合があります。予めご了承ください。

取り付け方法

①本製品のボールジョイント固定ダイヤルを取り出し、図を参考に組み立てます。(図1)

※ボールジョイントは強く押し込むことで取り付けができます。

②ホルダーをスマートフォンや設置場所に合わせて、吸盤アームの調整ネジを緩めてから吸盤アームの長さ/角度を調整し調整ネジを締め込みます。

③本製品のボールジョイント固定ダイヤルを緩めて、お好みの角度に合わせたあと締め込みます。

※台紙裏面に「取り付け位置について」の記載があります。運転の妨げにならない位置をご確認のうえ、取り付け位置を決定してください。

※本製品にスマートフォンをホルダーした状態で運転の妨げにならない位置かどうか確認してください。

※前方に傾けた状態での固定は、スマートフォンが落下するおそれがあるのでおやめください。

※スマートフォンをホルダーした際に、ホルダー部分が最大で約15mm下がります。必ずホルダー部分が下がった状態で取り付け場所周辺にスペースがあることを確認してください。

※本革、合成皮革、布地、ウレタン等、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面等のダッシュボードには取り付けができません。

④ゲル吸盤を貼り付ける場所の汚れを拭き取り、油分を中性洗剤等で確実に脱脂してください。

※ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。

⑤ゲル吸盤に貼られている保護フィルムをはがしてから、ゲル吸盤面を下にしてゆっくり圧着していきます。

⑥ゲル吸盤を確実に圧着した後、吸盤ロックレバーを下ろして吸着させます。(図2)

※吸盤内部に空気の多い状態では、確実なゲル吸盤での保持ができません。

※取り付け場所によっては吸着が弱い場合があります。

その際は付属品のゲル吸着補助プレート(裏面に両面テープあり)を取り付け場所に貼り付け、保護フィルムをはがしたあと、その上に吸盤を取り付けてください。(図3)

ご注意

●取り付けについてのお問い合わせには、お答えできない場合があります。予めご了承ください。

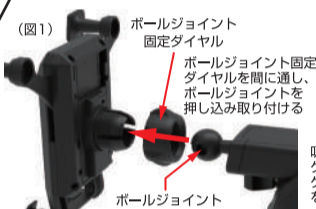
●運転の妨げになる場所や危険と思われる場所、安全装置(エアバッグシートベルト等)の作動効果の妨げになる場所には取り付けしないでください。

●フロントガラスへの取り付けはおやめください。●走行中での本製品の調整・操作・スマートフォンの操作・通話・テレビや動画鑑賞は大変危険です。絶対におやめください。●走行中の振動によりスマートフォンが落下・破損する場合がありますのでご注意ください。

●国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。またフロントガラス・側面ガラスへの取り付けは保安基準に不適当となりますので絶対におやめください。●ご使用される前に、本体がしっかりと固定されているか確認してください。●車内温度が高温になる場合や取り付けが不完全な場合、ゲル吸盤の粘着強度が不十分になり、スマートフォンが落下・破損する恐れがありますのでご注意ください。●車の急発進、急停車などの振動により本製品に装着したスマートフォンが落下・破損する恐れがありますのでご注意ください。

●弊社では落下によるスマートフォンの破損については一切責任を負いかねます。●保護ケースを装着していないスマートフォンを本製品にホルダーした際、アーム部分とごすれてスマートフォンに傷がつく場合があります。予めご了承ください。●本製品を取り外した際、取り付けた場所に日焼けや吸着の跡が残る場合があります。予めご了承ください。●本製品を正常にご使用中、変形などの不具合が起きた場合は、直ちにご使用をおやめください。

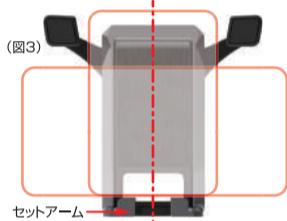
●本製品の取り付けご使用や、誤った取り付け、改造してのご使用等による事故・故障・破損等につきまして当社では一切その責任保証は負いかねます。



ご使用方法

セットアームの上へ静かにスマートフォンを置きます。ホルダー部分がスマートフォンの自重で下がり、アーム部分が可動してスマートフォンを固定します。縦置き/横置きともに、スマートフォンをセットアームの上に置くだけでホルダーできます。

※スマートフォンをホルダーする際、セットアームの中心付近とスマートフォンの中心を合わせるようにして置いてください。中心からずれて置いた場合、うまくホルダーされない場合があります。(図3)

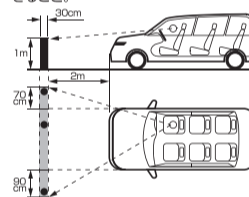


取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適当となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

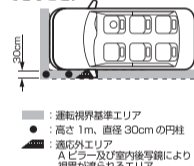
前方視界基準

<基準概要>
自動車前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



直前直左視界基準

<基準概要>
自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



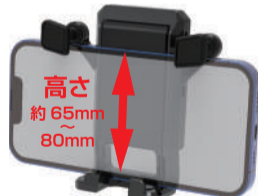
●: 運転視界基準エリア
●: 高さ1m、直径30cmの円柱
■: 車の外エア Aピラー及び室内後等鏡により視界が遮られるエリア

ホルダー可能なスマートフォンのサイズ・重量

縦置き



横置き



スマートフォンをホルダーした際にホルダーが最大約15mm下がります。



ホルダー可能なスマートフォンのサイズ・重量

縦置き時	幅	約65mm~85mm
横置き時	高さ	約65mm~80mm
	厚み	約12mmまで
	重量	約130g~250gまで

※130g以下の場合、自重が不十分となりホルダーが可動せず完全にホルダーできない場合があります。

各部の名称



ボールジョイントで見やすい位置に角度調整



多彩な調整が可能なゲル吸盤アーム

※配置寸法はゲル吸盤中心から本体前面までの高さ

